

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌

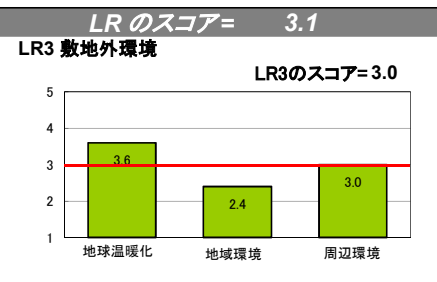
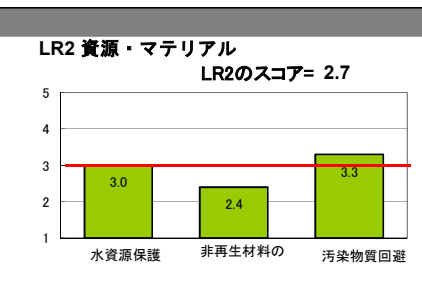
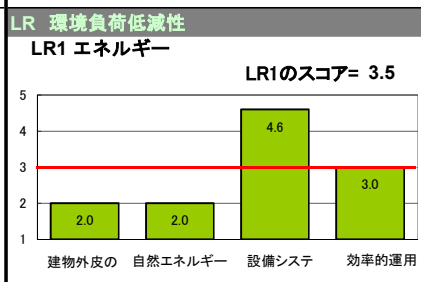
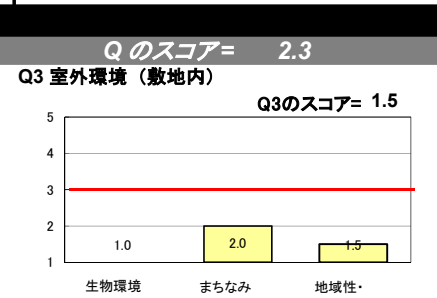
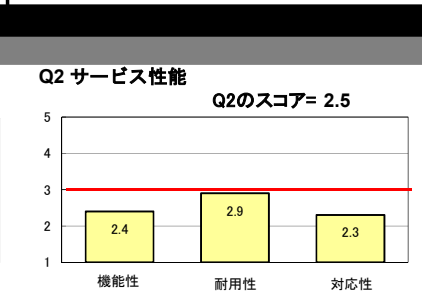
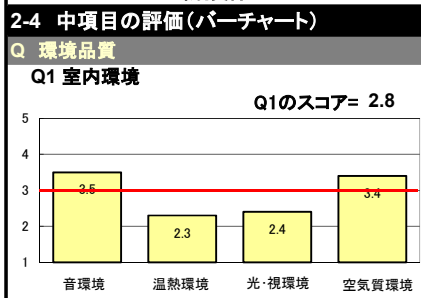
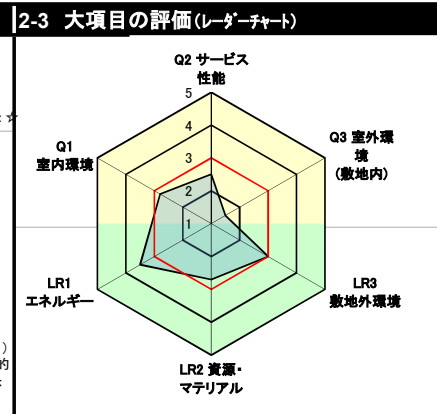
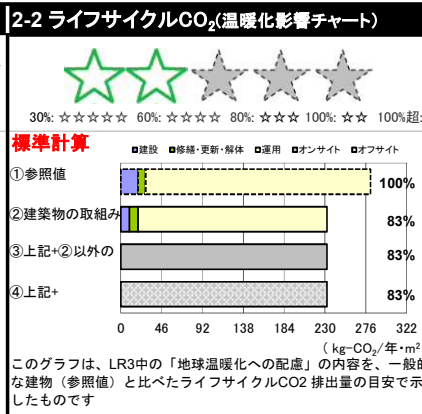
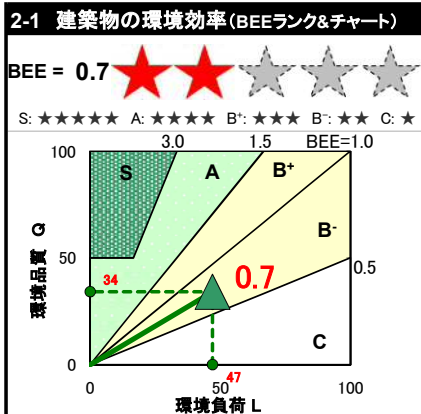


評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0 使用評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.3)

1-1 建物概要	
建物名称	(仮称)ドリー札幌北14条 新築工事
建設地	札幌市北区北14条西4丁目23-1,23-2,24-1,24-2,25-1,25-2
用途地域	近隣商業地域、準防火地域
建物用途	集合住宅
竣工年	2020年3月 予定
敷地面積	981 m ²
建築面積	525 m ²
延床面積	3,850 m ²

階数	地上8階、地下0階
構造	RC造
平均居住人員	130 人
年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2019年2月25日
作成者	
確認日	2019年2月26日
確認者	



3 設計上の配慮事項

総合 利用者に配慮しF☆☆☆☆を使用している。また 主要内装仕上げ材、給排水配管は耐用年数高い材料を使用している。	A 省エネルギー 照明はLEDを使用し、省エネルギー性を高めている。
B 省資源等 主要内装仕上げ材、給排水配管は耐用年数高い材料を使用している。	C 緑化 特になし。
	D 雪処理 特になし。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

CASBEE札幌2016(ver.1.3)
 (仮称)ドーミー札幌北14条 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.3)
 欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点 評価項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数		
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 室内騒音レベル								
1.2 遮音								
1	開口部遮音性能	アルミ製建具はT-2を使用している。	5.0	1.00	5.0	0.30		
2	界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30		
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20		
4	界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20		
1.3 吸音								
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1	室温		3.0	0.63	3.0	0.63		
2	外皮性能	省エネ	1.0	0.38	2.0	0.38		
3	ゾーン別制御性		-	-	-	-		
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
1	昼光率	住宅専有部昼光率2.0%	2.0	0.60	5.0	0.50		
2	方位別開口		-	-	1.0	0.30		
3	昼光利用設備	省エネ	3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策								
1	昼光制御	省エネ	1.0	1.00	1.0	1.00		
2	映り込み対策		-	-	-	-		
3.3 照度								
3.4 照明制御								
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
1	化学汚染物質	F☆☆☆☆を使用している。	4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気								
1	換気量		3.0	0.50	3.0	0.33		
2	自然換気性能	居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保している	-	-	5.0	0.33		
3	取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33		
4.3 運用管理								
1	CO ₂ の監視		-	-	-	-		
2	喫煙の制御		-	-	-	-		

Q2 サービス性能				0.30	-	-	2.5	
1 機能性				2.1	0.40	2.6	1.00	2.4
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60	
1	広さ・収納性				-	-	-	
2	高度情報通信設備対応				-	3.0	1.00	
3	バリアフリー計画			3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40	
1	広さ感・景観 (天井高)				-	3.0	0.50	
2	リフレッシュスペース				-	-	-	
3	内装計画			1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理				2.0	0.30		-	
1	維持管理に配慮した設計			2.0	0.50		-	
2	維持管理用機能の確保			2.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80	-	-	
2	免震・制震・制振性能			3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.3	0.30	-	-	
1	躯体材料の耐用年数		住宅の品質確保の促進に関する法律における木造、鉄骨またはコンクリートの評価方法基準で等級2相当	4.0	0.20	-	-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源		2.0	0.20	-	-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源	床:長尺塩ビシート20年、壁:ビニルクロス貼20年、天井:ビニルクロス貼30年	4.0	0.10	-	-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源		3.0	0.10	-	-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	給湯:SUS⇒C、給水:SUS⇒C、排水:VP⇒B	4.0	0.20	-	-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				2.4	0.20	-	-	
1	空調・換気設備			3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備			2.0	0.20	-	-	
3	電気設備			3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法			1.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備			3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	2.0	1.00	2.3
3.1 空間のゆとり			-	-	1.0	0.50	
1 階高のゆとり				-	1.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ				-	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.5
1 生物環境の保全と創出	緑化		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	緑化		2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	雪処理		1.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネ		2.0	0.20	-	-	2.0
2 自然エネルギー利用	省エネ		2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化	省エネ	[BEI][BEIm] = 0.87	4.6	0.50	-	-	4.6
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				-	-	-	
4.1 モニタリング	省エネ			-	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネ			-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	省エネ		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネ		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減	省資源		2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	省資源		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源	-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	省資源		2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	省資源		3.0	0.20	-	-	

3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤	省資源	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	省資源	4.0	0.50	-	-	発泡剤を用いた断熱材を使用していない。
3	冷媒	省資源	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		省資源	ライフサイクルCO2排出率が83%	3.6	0.33	-	3.6
2 地域環境への配慮				2.4	0.33	-	2.4
2.1 大気汚染防止		省資源		3.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		省資源 熱化 蓄処理		2.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	
1	雨水排水負荷低減	省資源		3.0	0.25	-	
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	
3	交通負荷抑制			3.0	0.25	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	省資源 蓄処理		2.0	0.25	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	
1	騒音			-	-	-	
2	振動			3.0	0.50	-	
3	悪臭			3.0	0.50	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	
1	風害の抑制			3.0	0.70	-	
2	砂塵の抑制				-	-	
3	日照障害の抑制			3.0	0.30	-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.3)

1 建物概要					
建物名称	(仮称)ドームー札幌北14条 新築工事	BEE	0.7	BEEランク	B ⁻
建物用途	集合住宅				
延床面積	3,849.9 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	<p>省エネルギー性能</p> <p>省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>雪処理</p> <p>★1=スコア(最低点~最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上</p>
	省資源等	
	緑化	
	雪処理	

3. 重点項目のCASBEEスコア					
A 省エネルギー (最高点 23.5 最低点 7.4)		合計 15.0点 /23.5点			
Q1 温熱環境	スコア	0.3 /1.4	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	1.6 /4.0
Q1 光・視環境	スコア	0.7 /2.1	LR1 自然エネルギー利用	スコア	0.8 /2.0
			LR1 設備システムの高効率化	スコア	9.2 /10.0
			LR1 効率的運用	スコア	2.4 /4.0
B 省資源等 (最高点 23.7 最低点 7.7)		合計 13.1点 /23.7点			
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.7 /1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	4.3 /9.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.9 /2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.5 /1.9
			LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.6 /5.0
			LR3 地域環境への配慮	スコア	2.1 /4.4
C 緑化 (最高点 15.3 最低点 3.1)		合計 5.2点 /15.3点			
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	0.9 /4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.0 /2.5
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	2.4 /6.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.9 /2.3			
D 雪処理 (最高点 3.0 最低点 0)		合計 0.0点 /3.0点			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0 /1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.0 /2.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■重点項目の**最高点**は、各評価項目で**レベル5**で評価された場合の点数
 ■重点項目の**最低点**は、各評価項目で**レベル1**で評価された場合の点数